回覧

伊那市高遠町美しい村だより

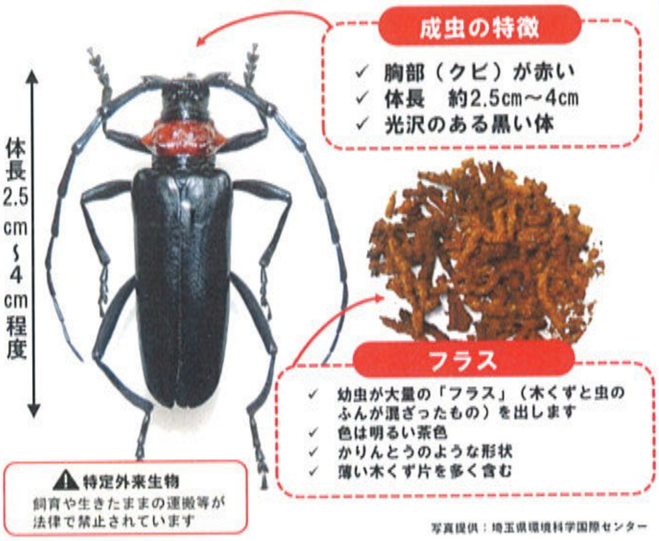
令和８年9月　第１３号

外来生物から高遠町の大切なサクラや果樹を守りましょう

○知っていますか？特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」

右の写真の通り、つやのある黒い体で胸部が赤いことから名前が「**クビアカツヤカミキリ**」とついています。この虫は、幼虫がバラ科樹木の内部を食い荒らし、サクラやモモ（ハナモモ）、ウメ等を枯らします。日本全国に生息域が拡大していて、今年７月に長野県でも初めて発見されました。９月１７日には辰野町で死骸一体が見つかっていて、伊那市に侵入していてもおかしくない状況となっています。

成虫の体長は2.5cm～4cm程度で、**見つけた場合は駆除や通報が必要です。絶対に放置してはいけません。**（生きたままの運搬等は法律で禁止されています）



成虫の特徴
- ✓ 胸部（クビ）が赤い
- ✓ 体長　約2.5cm～4cm
- ✓ 光沢のある黒い体

フラス
- ✓ 幼虫が大量の「フラス」（木くずと虫のふんが混ざったもの）を出します
- ✓ 色は明るい茶色
- ✓ かりんとうのような形状
- ✓ 薄い木くず片を多く含む

⚠特定外来生物
飼育や生きたままの運搬等が法律で禁止されています

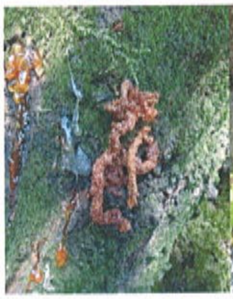
写真提供：埼玉県環境科学国際センター

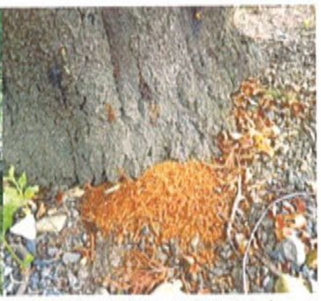
○高遠町のサクラや果樹を守る取り組みにご協力をお願いします

クビアカツヤカミキリは、放置すれば個体をどんどん増やし、近くのバラ科樹木を次から次と枯らしてしまいます。農家や個人のモモやスモモ、プルーンなどが採れなくなったり、サクラやハナモモのきれいな花が楽しめなくなるかもしれません。美しい高遠町の大切な農業とサクラを守るため、クビアカツヤカミキリの痕跡を発見する取り組みににご協力をお願いします。

○近くにこんな木はありませんか？

クビアカツヤカミキリは、この時期は幼虫の活動により寄生された樹木を発見できます。**幼虫が入り込んだ樹木からは、うどん上のフラス（フンと木くずが混ざったもの）が排出されるため、目印となります。**樹木の管理や散歩の途中などに右の写真のように**疑わしい樹木を発見した場合は、伊那市や県の窓口に通報をお願いします。**


排出孔から出るフラス


樹木の株元に溜まります

生息場所を特定し、拡大させないことが重要です。

フラスのある樹木や成虫（死がいも）を発見したら、発見日時、発見場所の情報、写真、状況などを伝えてください。（成虫の活動（生存）時期は６月～８月前後、幼虫は冬期以外はフラスを排出します。）

伊那市の窓口：生活環境課　ゼロカーボン環境政策係　TEL_0265-７８-４１１１ 内線２２１１
長野県の窓口：上伊那地域振興局　環境・廃棄物対策課　TEL_0265-７６-６８１７

伊那市高遠町「日本で最も美しい村」推進委員会 事務局（伊那市高遠町総合支所高遠商工観光課）　担当：北島
電話：0265－94－2556　Mail：t-knk@inacity.jp　※こちらでもクビアカツヤカミキリの報告も受け付けます